

III 警 防 編

1 消防力の現況（平成30年12月末日）

（1）消防職員の現況

区 分	消 防 本 部	中 央 署	西 署	合 計
警 防 要 員		105	39	144
救 急 要 員		33	12	45
警 防 ・ 救 急 要 員			75	75
予 防 要 員	10	4	2	16
そ の 他 の 要 員	38	1	2	41
合 計	48	143	130	321

（2）消防団員の現況

区 分	警 防 要 員	本 部 要 員	合 計
釧 路 市 消 防 団	439	6	445

（3）消防水利（地域別消防水利施設現勢表）

地区	水利	公 設			
	消 火 栓	防 火 水 槽 (40m ³ 級)	耐 震 性 貯 水 槽 (100m ³ 級)	指 定 水 利	計
大 楽 毛	199	12			211
鉄 西	255	34			289
白 糠	125	43			168
阿 寒	87	13			100
阿 寒 湖 温 泉	24	7		1	32
音 別	22	26			48
愛 国	152	31			183
鉄 北	227	35			262
橋 北	120	44	1	1	166
橋 南	317	84	1	3	405
春 採	149	31			180
白 樺	37	2			39
合 計	1,714	362	2	5	2,083

(4) 消防車両等の現況

種別	管理区分	消防本部	中央署	西署	白糠支署	消防団	合計
	消防ポンプ自動車	普通 (予備車)		1 (1)	7 (3)	8 (1)	19 21
水槽付 (予備車)			6 (2)	8 (1)	白糠 2	2	
はしご車	直伸		1	1			3
	屈折		1				
特殊車	化学消防車		1	1			2
	指揮隊車		1				1
	機材運搬車		1	4	白糠 1		5
	小型梯子車		1				1
	救助工作車		1				1
	災害支援車		1				1
	小型動力ポンプ付水槽車		1	3	白糠 1		4
	小型動力ポンプ積載車						8
救急車 (予備車)			5 (2)	7 (2)	白糠 2 白糠 (1)		12 (4)
その他の車両	緊急車	5	5	5	白糠 1		15
	その他	4		1			5
合計 (予備車)		9	26 (5)	30 (3)	白糠 7 白糠 (1)	29	94 (8)

※ () 内及び白糠支署は内数

2 警防体制

(1) 部隊編成

釧路市は地震多発地帯に位置し、かつ市街地は川によって3分割されていることから、消防体制としてこれらの地域が独立して警防活動ができるように消防部隊を編成している。

ア 消防本部部隊編成

司令本部 ————— 指揮本部 ————— 30 隊
 └————— 救急隊 ————— 8 隊

イ 釧路市の消防団部隊編成

消防団司令本部 ————— 18ヶ分団消防隊

(2) 出動計画

市街地の防火対象物建ぺい率、構造、消防水利等を分析し、釧路市消防警防規程及び釧路市消防警防規程運用要綱で定めている。

ア 火災出動計画

出動区分	出動台数	出動基準
第1出動	6台～7台	火災を覚知した時
第2出動	10台～12台	現場最高指揮者が消防隊の増強を認めた時
第3出動	18台～19台	現場最高指揮者が、火災の規模により第2出動では対応し難いと判断し、消防隊の増強を認めた時
特命出動	必要台数	災害状況に応じて現場最高指揮者が要請

イ 救助救急出動計画

覚知時 3台～5台(救急車含む)
特命出動 必要数

ウ 警戒出動計画

覚知時 1台～2台

エ 非常災害時出動計画

地震・津波・風水害等の自然災害発生時、通常の消防体制では対応できない場合の計画を定め、消防部隊の増強を図る。

オ 石油コンビナート等特別防災区域内出動計画

当市の西港区域石油貯蔵施設は石油コンビナート等災害防止法により特別防災区域として指定されており、北海道石油コンビナート等防災計画に基づき、高所放水車及び化学車等を基本に消防部隊の増強を図る。

(3) 消防救助活動に対する民間協力体制

消防が有する装備と資機材では対応し難い災害への対策として、特殊資機材、重機等を有する民間企業が消防救助活動に協力する『釧路市救助協力会』を結成している。

ア 設立 昭和56年4月22日

イ 組織 5部会 30事業所

(4) 林野火災及び大規模災害に対処する防災体制

釧路市愛国191の1に『空中消火等補給基地』(ヘリコプター離着陸広場 8,000 m²、40m³級貯水槽1基、資機材保管施設1棟、消火薬剤散布装置3基)を設置し、林野火災の消火及び大規模災害時の救助救急等に備えている。

3 火災・警戒出動概要

平成30年中の出動状況は50件の火災が発生し、車両延べ362台、職団員延べ1,538名が出動し消防活動を行った。その概要は次表のとおりである。

(1) 火災出動状況

月	区分		出 動 台 数 (台)						出 動 人 員 (名)					
	火災件数		消防署		消防団		計		消防署		消防団		計	
1 月	3		15		3		18		53		37		90	
2 月	6	(1)	35	(1)	4		39	(1)	130	(5)	28		158	(5)
3 月	5	(2)	41	(18)	10	(8)	51	(26)	135	(57)	56	(43)	191	(100)
4 月	10	(2)	56	(11)	19	(11)	75	(22)	197	(41)	105	(54)	302	(95)
5 月	3		14				14		53				53	
6 月	3		16		2		18		55		16		71	
7 月														
8 月	2		13		2		15		46		16		62	
9 月	4	(1)	29	(1)	6		35	(1)	133	(5)	16		149	(5)
10 月	4		24		5		29		88		62		150	
11 月	4		24		5		29		91		62		153	
12 月	6		32		7		39		110		49		159	
合 計	50	(6)	299	(31)	63	(19)	362	(50)	1,091	(108)	447	(97)	1,538	(205)

※ () は、白糠町の内数

(2) 過去5年間の火災出動状況の推移

区 分 年	火災件数	出 動 台 数 (台)			出 動 人 員 (名)		
		消 防 署	消 防 団	計	消 防 署	消 防 団	計
平 成 26 年	68(6)	345	78	423	1,215	626	1,841
平 成 27 年	64(5)	340	70	410	1,225	644	1,869
平 成 28 年	63(12)	360	91	451	1,254	719	1,973
平 成 29 年	65(7)	335	70	405	1,194	615	1,809
平 成 30 年	50(6)	299	63	362	1,091	447	1,538

※ () は、白糠町の内数

(3) 過去5年間の警戒出動状況及び推移

区分	年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
出動件数	799	(93)	1,415	(123)	1,234	(124)	1,123	(106)	963	(69)		
集合煙突	3		4		2		5		2	(1)		
焚き火	1		1		1	(1)	2					
電柱	3		8	(1)	8		3		1			
異常燃焼	6		7		3		7		3			
油関係	124	(7)	123	(5)	140	(2)	112	(4)	103	(1)		
ガス関係	4		3		8		3		12	(2)		
自火報	58	(1)	63		90	(2)	50	(1)	56	(1)		
漏電警報器	1		0		1		1		1			
非常警報	7		5		4		4	(1)	4			
緊急ボタン	25	(4)	25	(3)	13	(1)	7		11	(1)		
危険排除	137	(6)	720	(47)	398	(55)	371	(30)	54	(3)		
その他	430	(75)	456	(67)	566	(63)	558	(70)	716	(60)		
出動台数	1,810	(203)	2,623	(262)	2,546	(219)	2,362	(209)	2,256	(142)		
出動人員	7,318	(728)	10,491	(942)	9,804	(781)	9,059	(802)	8,464	(524)		

※ () は、白糠町の内数

4 救助出動概要

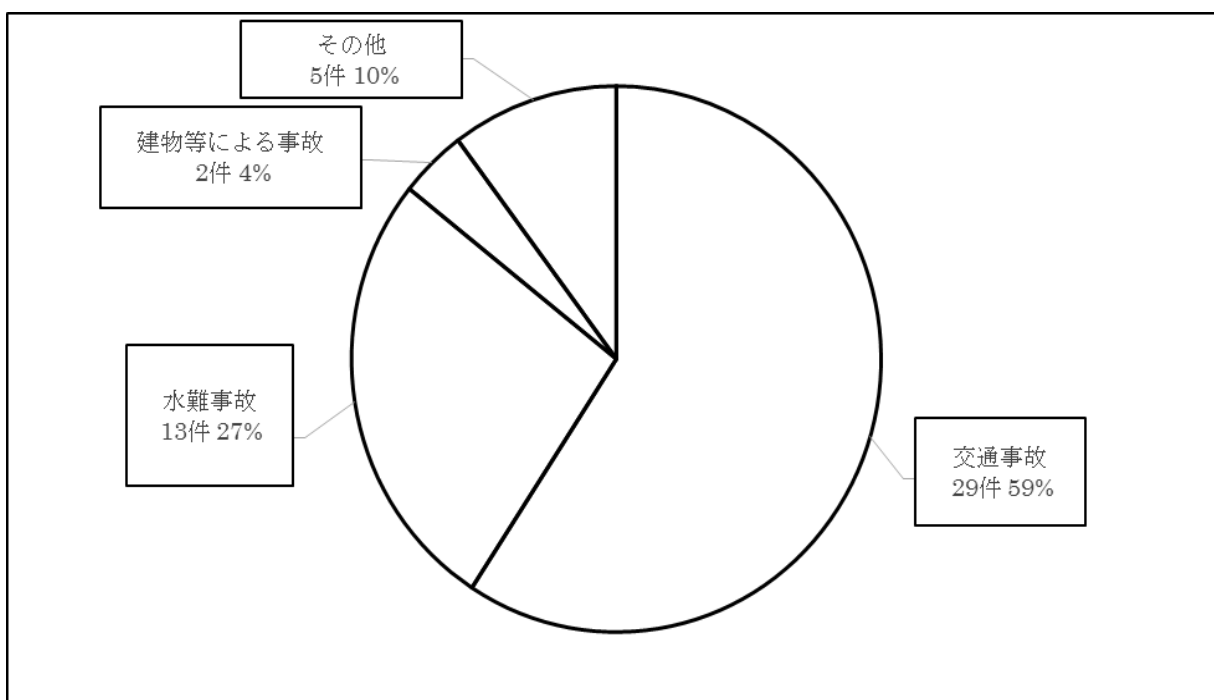
平成30年中の救助出動は49件発生し、車両延べ281台、人員延べ1,097名が出動し救助活動を行った。その概要は次表のとおりである。

(1) 前年比救助出動状況

区分	年	平成29年				平成30年			
		出動件数		救助人員		出動件数		救助人員	
出動件数		67	(5)	72	(11)	49	(2)	66	(2)
交通事故		36	(2)	48	(6)	29	(2)	50	(2)
水難事故		16	(1)	9		13		8	
自然災害									
機械による事故		2		1					
ガス及び酸欠による事故									
建物等による事故						2		2	
爆発事故									
その他		13	(2)	14	(5)	5		6	
出動台数		370		(35)		281		(7)	
出動人員		1,476		(164)		1,097		(32)	

※ () は、白糠町の内数

(2) 事故種別救助出動状況



(3) 月別救助出動状況

区分	月												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出 動 件 数	8	1	2	7	3	2	3	3	7	5	4	4	49
交 通 事 故	6		1	4		1	3	3	4	2	3	2	29
水 難 事 故	1		1	2	2	1			2	2	1	1	13
自 然 災 害													
機 械 に よ る 事 故													
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故													
建 物 等 に よ る 事 故		1							1				2
爆 発 事 故													
そ の 他	1			1	1					1		1	5
出 動 台 数	38	5	12	46	20	11	17	18	47	24	22	21	281
出 動 人 員	146	18	46	178	119	39	71	66	168	88	85	73	1,097
救 出 人 員	10	1	3	8	3	1	5	10	6	6	4	9	66

(4) 署々別救助出動状況

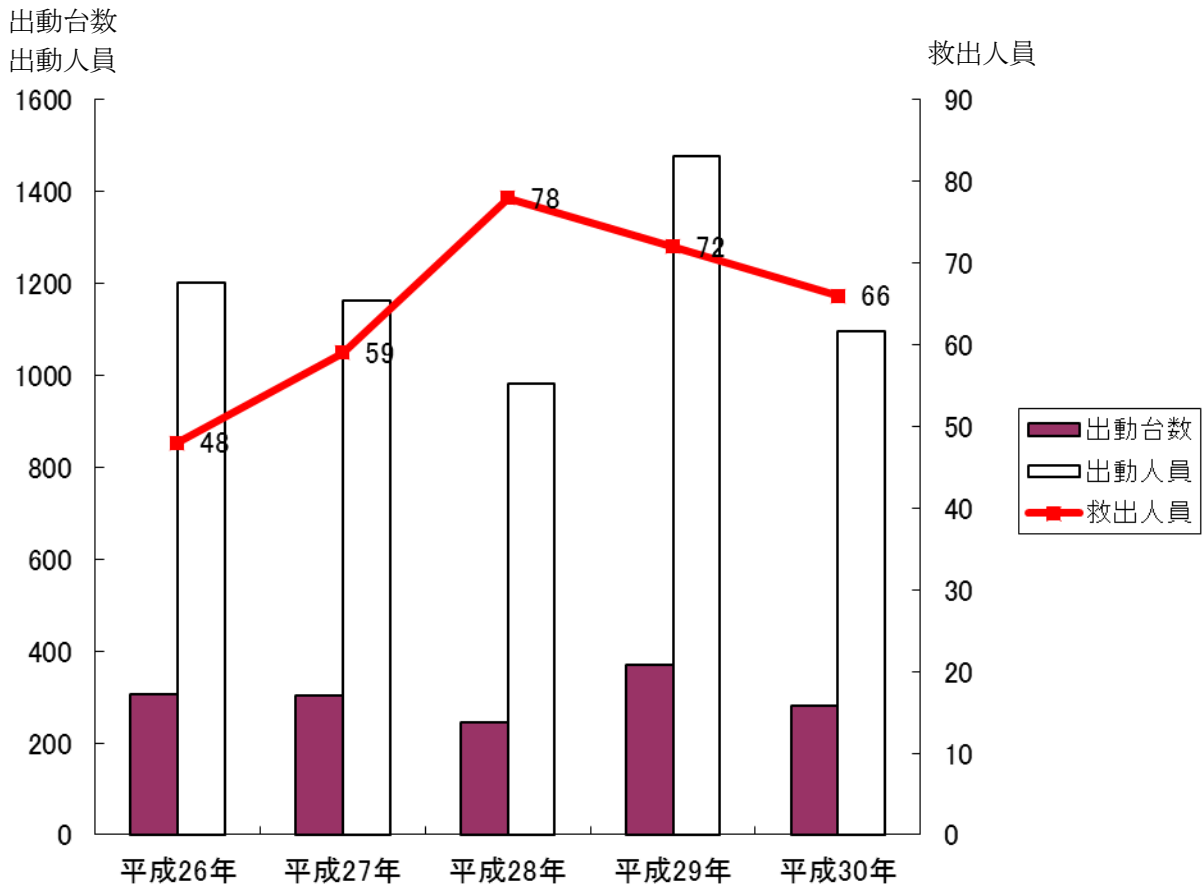
区分	署	中 央 消 防 署		西 消 防 署		合 計	
出 動 件 数		27		22	(2)	49	(2)
交 通 事 故		11		18	(2)	29	(2)
水 難 事 故		10		3		13	
自 然 災 害							
機 械 に よ る 事 故							
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故							
建 物 等 に よ る 事 故		2				2	
爆 発 事 故							
そ の 他		4		1		5	
出 動 台 数		172		109	(7)	281	(7)
出 動 人 員		656		441	(32)	1,097	(32)
救 出 人 員		35		31	(2)	66	(2)

※ () は、白糠町の内数

(5) 過去5年間の救助出動状況の推移

区分	年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
出 動 件 数	56	(4)	61	(5)	47	(2)	67	(5)	49	(2)		
交 通 事 故	25	(3)	27	(3)	26	(1)	36	(2)	29	(2)		
水 難 事 故	19		18	(1)	7		16	(1)	13			
自 然 災 害												
機 械 に よ る 事 故	2	(1)	2		1	(1)	2					
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故			2									
建 物 等 に よ る 事 故	1				1				2			
爆 発 事 故												
そ の 他	9		12	(1)	12		13	(2)	5			
出 動 台 数	305	(15)	303	(22)	245	(9)	370	(35)	281	(7)		
出 動 人 員	1,202	(67)	1,164	(80)	983	(34)	1,476	(164)	1,097	(32)		
救 出 人 員	48	(7)	59	(7)	78	(4)	72	(11)	66	(2)		

※ () は、白糠町の内数



5 消防通信

消防通信は、有線通信及び無線通信に大別され、それぞれの法令（有線電気通信法・電波法）に基づき運用されている。

(1) 有線通信施設

区分	種別	施設数	適用	
有線電話	消防救急指令台	1 1 9 回線	4 回線 緊急呼用ISDN回線 同時8CH (一般・携帯・IP全て重畳)	
		指令施設用回線	1 式 音声指令15回線 指令電送15+1(大規模)回線	
		指令台用局線	2 回線 ISDN回線、同時4CH	
		順次指令用局線	2 回線 ISDN回線、同時4CH	
		I T 情報端末装置	1 回線 FTTH	
	一般	加入電話	27(2) 回線	本部・署・分署・支署・分団(13箇所) (ISDN回線・電話・FAX)
		F A X 専用回線	1 回線	光電話2CH(指令台収容)
		災害情報自動案内	1 契約	災害等案内(NTT側設備で100回線)
		内線電話	252 回線	本部・署・分署・支署 □
		北海道総合行政情報ネットワーク専用電話	1 回線	本部総務課

※ 市イントラ用光ファイバーを活用し、多重装置で実現(指令回線・指令電送・内線回線・デジタル無線・消防情報支援システム・大規模災害装置)

※ 白糠支署はビジネスイーサワイドを活用(指令回線・指令電送・内線回線・消防情報支援システム)

※ 白糠町役場のデジタル無線基地局はビジネスイーサワイドで接続

※ () 内は白糠支署内数

(2) 無線通信施設

区分・種別		施設数		適用	
無線設備	基地局	デジタル	5(1) 局	20W(中央消防署東分署・阿寒支署・阿寒湖温泉支署・音別支署・白糠町役場) →移動局、受令機の災害指令	
	簡易基地局	デジタル	1 局	10W(仁々志別小学校)→陸上移動局の通信	
	固定局	デジタル	3 局	東分署基地局用アプローチ回線	
	陸上移動局	卓上型	デジタル	25(2) 局	5W→署・支署11局、分団10局、本部4局
		可搬型	デジタル	2 局	
		車載	デジタル	96(15) 局	
	携帯	デジタル	117(18) 局		
受令機	署所端末用	14(1) 台	本部・各署・各支署		
	携帯型	19 台	分団		
その他	携帯電話		28(3) 台	警防課2台、通信指令課2台、中央署5台、東分署2台、愛国支署2台、桜ヶ岡支署1台、西署2台、大楽毛支署1台、阿寒支署2台、阿寒湖温泉支署3台、音別支署2台、白糠支署3台、市立病院1台	
	衛星携帯電話		6(1) 台	本部1台、警防課1台 救急隊4台(阿寒・阿寒湖温泉・音別・白糠支署に各1台)	
	車両運用端末装置(AVM)		40(3) 台	消防隊16台、救急隊9台、分団15台	
	動画伝送装置		1 台	指揮隊	

※ () 内の数字は白糠支署内数

(3) 無線チャンネル系統

		司令本部	中央消防署		西消防署				
			中央方面隊	東方面隊	西方面隊	阿寒方面隊	阿寒湖方面隊	音別方面隊	白糠方面隊
緊急災害	消防用活動波	活動波1・活動波3 (指揮命令及び現場活動)			活動波2 (指揮命令及び現場活動)				
	救急用活動波	活動波4 (指揮命令及び現場活動)							
	情報用活動波	活動波5 (現場災害と指令室間の情報連絡用)							
	指令用活動波	活動波6 *指令放送有線回線切断時、すべての音声合成指令を署所端末装置向け送出							
大規模非常災害通信	消防用活動波	活動波1 活動波2 活動波3	活動波1	活動波3	活動波2				
	救急用活動波	活動波6 (司令本部からの救急指令及び現場活動)			活動波4 (司令本部からの救急指令及び現場活動)				
	情報用活動波	活動波5 (司令本部と中央消防署、西消防署、東分署間の通信)							

(備考) ※注1 旧西部地区の無線輻輳時、中央方面隊、東方面隊の無線交信に影響がない範囲で、西方面本部長の指示により移動局間直接通信を運用できるものとする。

共通波	主運用波 4 (北海道波)	統制波 1
		統制波 2
		統制波 3

(4) 災害通報等受付件数

項目	火災	警戒	救助	救急	その他	合計
119番受付	58 (7)	734 (65)	37 (5)	8,940 (440)	6,378 (186)	16,147 (703)
119FAX	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
加入電話受付	3 (0)	99 (7)	5 (0)	82 (7)	8 (0)	197 (14)
警察電話受付	6 (0)	63 (3)	12 (0)	64 (2)	33 (1)	178 (6)
無線受付	3 (0)	6 (0)	0 (0)	10 (0)	0 (0)	19 (0)
駆け付け通報	1 (0)	5 (0)	0 (0)	19 (1)	2 (0)	27 (1)
その他	1 (0)	55 (4)	4 (0)	106 (1)	752 (39)	918 (44)
合計	72 (7)	962 (79)	58 (5)	9,222 (451)	注 7,173 (226)	17,487 (768)

※ 各項目下段 () 内の数値は、白糠町の件数で上段の内数

注 合計欄その他の内訳

項目	問合せ	訓練	試験	誤報	いたずら	携帯転送	その他	合計
件数	723	1,648	1,979	810	37	2	1,974	7,173

※ 災害通報等受付件数は、実災害件数とは異なります。(消防隊と救急隊が同時出動する火災、救助及び警戒出動は救急隊が出動していても救急受付件数には含まず、それぞれの災害項目に計上されます。)

6 研修及び訓練実施状況（平成30年実績）

（1）研修

種別	項目		対象及び内容	期間・回数	人員・時間	
本 部 研 修	資格取得		大型自動車運転免許取得	11回	11人	
			無線従事者免許取得	1回	4人	
			潜水士資格取得	1回	3人	
	派 遣	病院実習		救急救命士資格者	134回	53人
		消防学校		初任教育前期	98日間	6人
				初任教育後期	98日間	3人
				専科教育救急科	33日間	7人
				専科教育火災調査科	12日間	2人
				特別教育はしご自動車運用課程	5日間	1人
				特別教育大規模災害 広域応援指揮課程	11日間	1人
				道MC関係教育気管挿管再認定講習	1日間	12人
				道MC関係教育処置拡大2行為講習	4日間	5人
				第25期救急救命士養成課程	125日間	1人
		消防大学校		専科教育予防科	52日間	1人
				実務講習緊急消防援助隊教育科 高度救助・特別高度救助コース	12日間	1人
	市職員研修		釧路市職員研修計画による	22日間	111人	
	新規採用職員研修		平成30年度採用職員	12日間	13人	
	専科研修		指導者育成研修	7日間	7人	
			水難救助特別教育	1回	4人	
			予防課程	30回	52人	
特別研修		消防職員意見発表会	1回	12件		
		消防職団員研究発表会	1回	15件		
所 属 研 修	係 別	消防隊研修		中央消防署	301回	419時間
				西消防署	716回	822時間
	研 修	救助隊研修		中央消防署	350回	419時間
				西消防署	235回	231時間
	救急隊研修		救急資格者研修	959回	2,100時間	

(2) 訓練

種別	項目	対象及び内容	期間・回数	人員・時間	
本部訓練	演習	春季消防演習	観閲	1回 27台/350人	
		秋季消防演習	慰霊祭・団競技大会	1回 27台/350人	
	各種訓練	救助隊員養成訓練	指定された隊員	17日間	12人
		消防活動技能訓練	指定された隊員	12日間	13人
		救助技術訓練指導会訓練	指定された隊員	5月～7月	6人
		警防技術訓練	指定された隊員	11日間	80人
		救急隊員訓練	指定された隊員	5日間	6人
所属訓練	消防隊訓練	中央消防署	1,044回	1,299時間	
		西消防署	2,320回	2,516時間	
	救助隊訓練	中央消防署	1,157回	1,709時間	
		西消防署	643回	816時間	
	救急隊訓練	救急資格者訓練	1,082回	1,321時間	

(3) 消防団

種別	項目	対象及び内容	期間・回数	人員・時間
研修訓練	研修	資格取得	自動車運転免許(中型)取得	1回 4人
		特別研修	女性消防団員研修	1回 21人
			機関教養	7回 48人
			予防教養	17回 624人
		視察研修	消防団員技能競技大会視察 (中止)	回 人
		釧路市	消防団員基礎教育	1回 25人
	北海道消防学校入校	特別教育女性団員課程	1回 1人	
	競技大会	釧路市消防団員	ポンプ自動車・小型ポンプ	8ヶ分団 41人
		(公財)北海道消防協会 釧路地方支部消防団員 技能競技大会	釧路市(9月8日) ポンプ自動車・小型ポンプ (中止)	ヶ分団 人
	訓練	規律訓練	訓練礼式	57回 696人
		防ぎよ訓練	競技訓練	123回 985人
	署・団合同訓練		15回 251人	